

国際ロータリー第 2550 地区 黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：ゴードンR. マッキナリー
 第 2550 地区ガバナー：三井福次郎
 事務所：〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15
 ベルヴィ宇都宮内
 TEL：028-651-2550
 FAX：028-651-2551
 Email：m2550@agate.plala.or.jp



世界に希望を生み出そう

会長：稲垣政一 幹事：井出法
 事務局：那須エステート(株)
 代表取締役 井出法
 〒325-0061 那須塩原市末広町53
 TEL:0287-64-0001・FAX:0287-64-1388
 E-mail:osamu.ide@nasuestate.jp
 例会：国民の祝日を含まない週の水曜日
 12:30 - 13:30
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第3011回 稲垣年度第11回例会会報 2023-10-18 司会 黒澤洋一会員

会長挨拶 稲垣政一会長



前回の例会で、「那須塩原市牛乳の日」にちなみ、牛柄のポストが市内5ヶ所に設置されたとお伝えしました。一つ目は那須塩原駅西口広場、二つ目はJR黒磯駅の西口、そして三つ目は那須塩原市役所の西那須野支所です。残り2ヶ所の場所はその時点では明らかではありませんでしたが、ついにその場所が特定されましたので、お知らせいたします。

四つ目の場所は「那須ガーデンアウトレット」のP4駐車場側です。こちらは、地ビールが楽しめる「那須ガーデンブルワリー なすですな」の向かい側になります。那須ガーデンアウトレットは多くの観光客が訪れる場所ですから、ここで生乳の生産のアピールができるのは有意義ですね。

そして、牛柄ポストの最後の場所、五つ目は那須塩原市役所の正面入口付近に設置されています。

これにより、5ヶ所すべての牛柄ポストの場所が明らかとなりました。これらの場所を訪れる際には、ぜひ探してみてください。

さて、10月は「米山月間」です。今年6月3日から4日にかけて、ロータリー旅行会

による一泊二日のプログラムで、身延山久遠寺と静岡を訪れました。旅の最後に訪れたのは米山梅吉記念館でした。そこで、記念館の資料を利用して、米山梅吉の人物像に迫りたいと思います。

因みに、記念館では毎週水曜日に地元の長泉(ながいずみ)RCの例会が、金曜日には裾野(すその)RCの例会が開かれています。

米山梅吉、その名前は日本ロータリークラブの創設時代を彩った一人の類いまれな人物として知られています。彼の人生は多くの偉業と深い洞察に満ちており、その存在が多くの記録に残されています。そして、その偉大な人物像は佐々木邦(ささきくに)の手によって『米山梅吉伝』という形で描かれています。

米山梅吉は1868年に岡山県に生まれました。明治時代の変革とともに育ち、明治法律学校(現在の明治大学)で学んだ彼は、後に三井信託の初代社長となりました。しかし、彼の功績は銀行業界に留まらず、社会事業家としても多くの貢献を果たしました。彼はロータリークラブの日本初代会長として、また青山学院の設立にも関わりました。

彼の人生哲学は、笑顔とユーモアを大切にするというものでした。彼自身が言っていたように、「人生は、笑って過ごすものだ。笑顔がなければ、人生はつまらない」と言いました。この言葉は彼の人生観を簡潔に表しています。また、「失敗を恐れないでほしい。失敗から学ぶことは多い」という言葉も彼の勇気と前向きな姿勢を示しています。

また梅吉は、他人への奉仕を中心に据えたものでした。彼は「他人に尽くすことは、自分を豊かにする」と信じ、その信念を行動で示しました。また、社会の不平等と格差に対する深い憂慮が見られ、格差が社会全体の活

出席報告 鳥居輝一委員長 (出席規定の免除会員数8名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 10月18日	35 (8)	29 (4)	6 (4)	93.5%	—	—
前回 10月4日	35 (8)	29 (4)	6 (4)	93.5%	2	100%

欠席の場合は前々日 正午 までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)
 メール gavn2bz9k@sound.ocn.ne.jp

力を妨げると指摘しています。

彼の功績の中でも特に注目すべきは、三井報恩会の創設です。三井報恩会とは、財閥の三井一族が当時の金で3,000万円を出資し、社会・文化諸事業に貢献する目的で設立された団体です。その当時のこの金額が今どれくらいの価値かは正確には計り知れませんが、一説によれば300億円以上とも言われています。米山はこの団体の初代理事長として、その信念を体現しました。

米山梅吉の人生とその業績は、現代の我々にも多くの示唆を与えています。彼の言葉と行動から学ぶことで、私たち一人一人が社会の公益に貢献し、社会の格差を縮小することができるでしょう。彼の豊かな人生とその貢献は、今でも多くの人々に感銘を与えています。

まだまだ米山梅吉の功績は語り尽くせませんが、時間の関係でここで締めさせていただきます。お聞きいただき、ありがとうございました。

幹事報告 井出法幹事



● お知らせ

- ・本日例会終了後、理事役員会を開催致します。理事役員の方は宜しくお願い致します。
- ・10/21(土)、第1グループ全体による「ポリオ撲滅キャンペーン」を那須塩原駅前にて行います。ご参加の方は井出迄ご連絡をお願い致します。
- ・公益社団法人「被害者支援センターとちぎ」より、「令和5年犯罪被害者支援県民のつどい開催のご案内」が来ております。(巻末資料をご参照ください)
- ・那須塩原市国際交流協会(理事長大島三千三氏)より、10/28開催の「那須塩原市国際交流協会創立30周年記念ワールドフェスティバル」のご案内が来ております。
- ・本年度「地区大会」(11/12開催予定)のご案内、及び出欠の確認を回覧しております。当日は石山よりバスでの出発を予

定しています。

- ・那須塩原市より、来年度の「那須野巻き狩りまつり」実行委員会開始のお知らせが来ました。吉光寺社会奉仕委員長へお知らせしています。

● ガバナー事務所からの連絡

- ・ロータリーリーダーシップ研究会のご案内が来ております。
- ・地区米山奨学会より「ハイライトよねやま」が来ております。

委員会報告 安藤譲治

副会長兼クラブ奉仕委員長



○ 高木慶一会員



私が2013年～2014年新世代委員長(平山博会長時代)の時、台湾花蓮から一年交換学生として黒磯クラブでお世話していました李宜蓁Nicoleさんから、「9月から日本航空グランドスタッフとして勤めはじめました。」と連絡がきました。「お世話になったホストファミリーの皆さんクラブの皆さんにお会いしたいです。休みがとれたらお伺いしますので宜しくお願いします。」とのことです。

本日の卓話

米山記念奨学会 秋間忍委員長

黒磯ロータリークラブの米山記念奨学会委員長を務めさせていただいている秋間忍です。私の他に荒牧明二副委員長、澤田吉夫委員の計3名で活動いたしております。



秋間忍会長

本日は、田島良久地区米山記念奨学会委員長、渡邊将宏資金推進委員長、それと米山奨学生の張静怡様をお招きしたところご快諾をいただき、各位のお話を伺うことになりました。米山記念奨学会をより深くご理解いただくために同会からお送りいただいた資料も回覧中ですが、先ずはお忙しい中、我々の要望に応じて快く当クラブにお越くださったご三方のスピーチに耳を傾けていただきたいと思います。それでは、田島委員長よろしくお願いたします。

○ 外来卓話 地区米山記念奨学会
田島良久委員長



皆様こんにちは。地区米山委員会委員長を務めております田島良久と申します。所属クラブは、第2グループの「馬頭小川ロータリークラブ」ですので宜しくお願致します。

本日は、米山月間として秋間委員長様より卓話依頼を頂き誠にありがとうございました。本事業は、日本全国34地区の合同事業です。特徴としますと世話クラブカウンセラー制度が有ります。今年度は、日本全国より900人の奨学生を採用している中で、当地区には23名の奨学生を預かっております。

今日は、中国遼寧省瀋陽出身で大田原市の国際医療福祉大学助産学分野に通っております張静怡(チョー セイイ)さんと、地区米山資金推進委員長の渡邊将宏(西那須野RC)の3人で邪魔しました。

私も各クラブで卓話をしておりますと、ど

うして中国ばかりの奨学生が多いんだと質問されますが、これは、日本に留学している学生の約50%が中国で、その中で当地区(栃木県)の大学に留学している学生の約70%が中国という現状です。当委員会での選考の時点では、一か国に偏らないように50%を超えないようにしております。

昨今では、中東・ウクライナ等での戦争で無残な情報が伝えられております。平和な日本のように未来ある留学生に日本の文化・利他の心を 教え育てる事を本事業では趣旨目的としておりますので今後ともご理解と御協力をお願い申し上げます。

黒磯ロータリークラブさんでは、今までに34人の奨学生を世話クラブとして受け入れて頂いておりますが、ここ近年は有りませんので次年度は是非とも受け入れて頂けるようお願い申し上げます。

次年度の当地区採用枠は1名減になり22名になります。これは、2年前の普通寄付・特別寄付の地区の総額により米山本部にて決定されますので寄付支援金を重ねてお願い申し上げる次第です

外国人留学生に奨学金を支給し支援することにより、日本と世界との「懸け橋」になる人材を育てています。

我々のこの事業は、「苗が有って、それを育てる」育成事業です。皆様の手の中に有りますので。



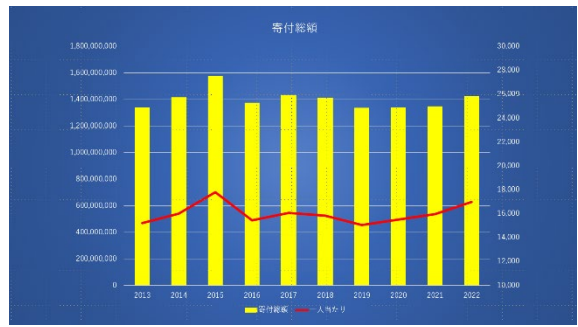
○ 外来卓話 地区米山記念奨学会
渡邊将宏資金推進委員長



日頃より黒磯ロータリークラブの皆さまには米山記念奨学会事業にご協力いただきありがとうございます。

米山月間卓話

令和5年10月18日
第2550地区米山記念奨学会委員会
資金推進委員長 渡邊将宏



米山梅吉(1868-1946)

- ・ポールハリスと同じ1868年(明治元年)に生まれる。
- ・その後渡米シダラスRC会員の福島喜三次と出会い、1920年日本で最初のロータリークラブ、東京RCを創立。
- ・日本初の信託会社、三井信託株式会社を創設。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース Vol.267
2022年6月10日発行

ハイライトよねやま

1. 50万ドルの返返し

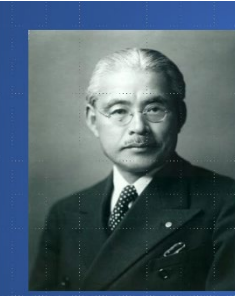
アメリカ在住の米山学友、高麗重さん(中国出身/1902-83/東京西尺C、1963-65/66-68/東京世田谷RC)が5月21日に当会を訪れ、個人として50万ドル(約6,650万円)の大口寄付をお申し出くださいました。

高麗さんは1958年に来日、東京工業大学工学部に進学、工学博士の学位を取得した後、渡米し、半導体の専門家として数々の企業を成しました。シリコンバレーのハイテク業界では

広く知られている人物とこのことです。今年86歳になる高麗さんは、生まれ育った中国、専門教育を受けた日本、そして仕事での成功をおさめたアメリカの懸け橋となって支援していきたい、それぞれの国への恩返しのお気持ちを込めて、今度の寄付をしたいと思います。

高麗さんには、東京工業大学工学部に進学、工学博士の学位を取得した後、渡米し、半導体の専門家として数々の企業を成しました。シリコンバレーのハイテク業界では

事務局長を兼任した高麗さん(前列左2人目)



古澤文作

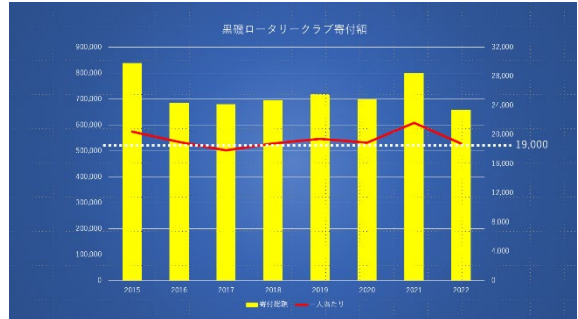
- ・1952年東京RC会長、栃木県西方村出身。
- ・米山山記念奨学会の原点となる、米山基金の設立を提唱する。

普通寄付	6,295,000円
特別寄付	22,075,938円
合計	28,370,938円 (昨年比-130万円)
一人当たり寄付額	17,288円

- ・2023学年度の奨学生数は900人。累計では23,509人
 - ・2550地区の奨学生は23人。
- 国籍は中国11人、バングラディシュ4人、ベトナム3人
マレーシア2人、ネパール1人、モンゴル1人、シリア1人



普通寄付	409,747,569円
特別寄付	1,013,167,688円
合計	1,422,915,257円 (昨年比+6700万円)
一人当たり寄付額	16,960円



○ 外来卓話 米山奨学生 張静怡様



皆様、こんにちは。私は今年の新規奨学生で、現在の所属クラブは大田原クラブとなっております。まず、今回の卓話へのご招待、心より感謝申し上げます。

早速ですが、自己紹介に入りたいと思います。国際医療福祉大学大学院助産学分野から参りました張静怡と申します。出身は中国遼寧省の瀋陽です。私は2016年3月に来日し、東京の浅草にある東京リバーサイド学園という日本語学校で2年間日本語を学び、2018年4月に国際医療福祉大学成田看護学部看護学科に入学しました。大学での4年間を通じて看護の技術と知識を学び、特に母性領域に強い興味を抱き、2022年3月第111回看護師国家試験を合格した後、現在在籍している国際医療福祉大学大学院の助産学分野に入りました。

次は、出身地瀋陽のことについて紹介していきたいと思います。瀋陽は中国東北地区の最大の都市で、政治、経済、教育、文化の中心地でございます。日本企業も多く進出し、ビジネスの出張や駐在員はもちろん、観光や留学で瀋陽を訪れる日本の方も多くいらっしゃいます。瀋陽での有名な観光スポットは、一位は瀋陽故宮だと思えます。瀋陽故宮では現在北京の故宮と同じく、世界文化遺産の一つであり、保存状態の良い皇居でございます。規模は北京の故宮の12分の1であります。次は美味しい名物グルメを紹介いたします。瀋陽人は羊肉の串焼きをよく食べます。羊肉は臭みも少なく、おいしいです。クミンなどのスパイス・ハーブが効いた味付けは、羊のジューシーな脂とよく合います。あと、瀋陽の鶏ガラも有名です。鶏ガラでは、鶏のモモ肉、胸肉などの身から、肉を切り分けたり、出汁をとったりして、残された骨がちの部分調理した料理です。唐辛子などを使った辛いものや、シンプルな塩味など、様々な味付けがあります。

次は現在の学業と生活について紹介させていただきます。今の学業としては、分野名の通り、将来助産師になるための学習を行って

おります。日本で助産師になりたい理由としては、世界グローバルの影響により、在日外国人の登録者数は年々増加し、令和4年末における在留外国人数は307万5,213人と初めて300万人を超え、過去最高となっています。国籍別では、中国、ベトナム、韓国、フィリピン、ブラジルの順で多く、年齢は20～40歳代の生殖活動が可能な時期に集中しています。そのうち、中国の在留登録者数は全体の24.8%を占め、最多となっています。これは中国人女性が日本で妊娠出産育児を経験する機会があるということを示しており、日本の出産期現場で中国人女性をケアする機会が増加してきていると考えております。日本と中国において、言葉、食文化、医療制度などの違いに加え、出産文化の違いも大きいと言えます。私は日本で生活している外国人として、非常に異国で生活する大変さを理解しており、また、女性として、中国の女性はもちろん、日本で生活している他国の女性が日本で安心して妊娠出産育児ができるよう、自分の力を最大限に活かしたいと考えております。そのため、日本ですべてのお母さんと赤ちゃんに優しい助産師になりたいと願っております。

現在行っている研究では、近年、日本で無痛分娩が広まっている背景の中で、日本の出産施設で無痛分娩を選択して出産した中国人女性の体験を明らかにしていきたいと思っております。この研究の意義としては、在日中国人母親また日本で生活している異文化を持つ母親たちが自分らしく出産できるためサポートのあり方、妊娠から出産まで無痛分娩に関する情報の提供や選択への支援、また産後切れ目のない支援策を得るための一助の資料を目指しております。いただいたロータリー奨学金のおかげで、研究に協力していただいた方々に贅沢な謝礼をお渡しすることができました。

また、課外活動に関して、現在は2カ所でボランティアとして活動しています。一つは学校の先生と宇都宮大学の児童心理学の教授と連携して行っており、毎月一回みるる図書館で子どもたちとの遊びを手伝っています。もう一つは、NPO法人マザーズ・ツリー・ジャパンの組織で日本に暮らす外国人女性の産前産後や子育てをサポートしています。ロータリー財団のお金をいただいたおかげで、生活が安定して余裕ができ、自分のやりたいことに時間を割けるようになりました。これからも、恩返しの一環として、自分の力の及ぶ限りで支援が必要な方々に手を差し伸べることを決意しました。

卒業まであと半年余りの時間となりましたが、残りの学生生活は現在の研究とボランティア活動をしつつ、また来年2月にある助

10月18日欠席者（敬称略）
荒井昌一 泉道夫 瀬尾紀夫 片田航介
渡辺裕雄 北畠大輔

前回10月4日分メイクアップ（敬称略）
永山三芳 植竹一裕

次回例会 令和5年10月25日 担当 SAA

近隣クラブ例会日

○火曜日 西那須野/いとう屋
○木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館

0287-36-0028
0287-23-4165

近隣クラブ例会日

○木曜日 大田原/ホテル花月
○金曜日 黒羽/ホテル花月

0287-54-1105
0287-54-1105

会報委員会：瀧田雅仁・吉光寺政雄・秋間忍・永山三芳